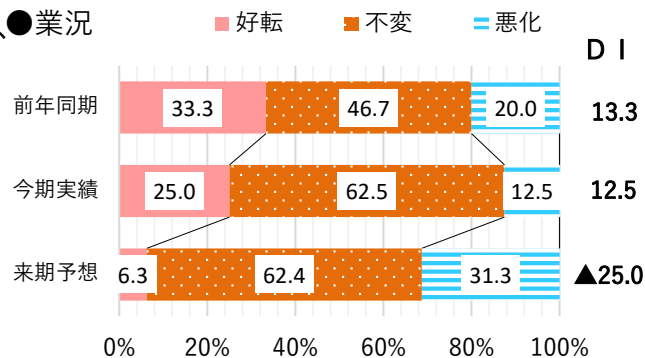


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

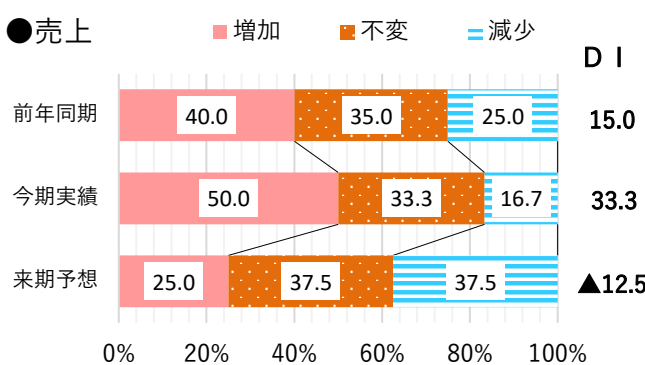
今期（2025.7～9）の業況判断DIは12.5で、●業況
前年同期（2024.7～9）と比べ0.8ポイント低
下しました。

来期（2025.10～12）の業況DIは今期と比
べ（2025.7～9）37.5ポイントと大幅に低下
すると予想しています。



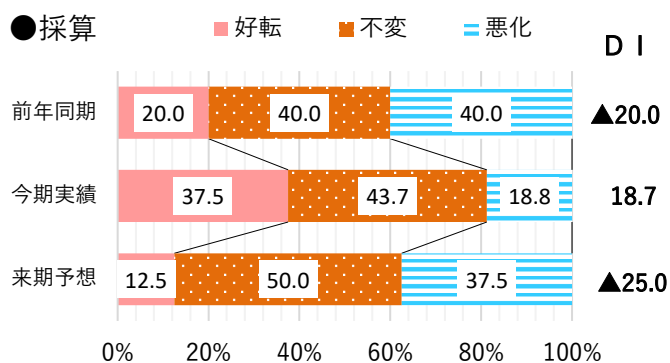
今期の売上高DIは33.3で、前年同期と
比べ18.3ポイント上昇しました。

来期の売上DIは今期と比べ45.8ポイン
トと大幅に低下すると予想しています。

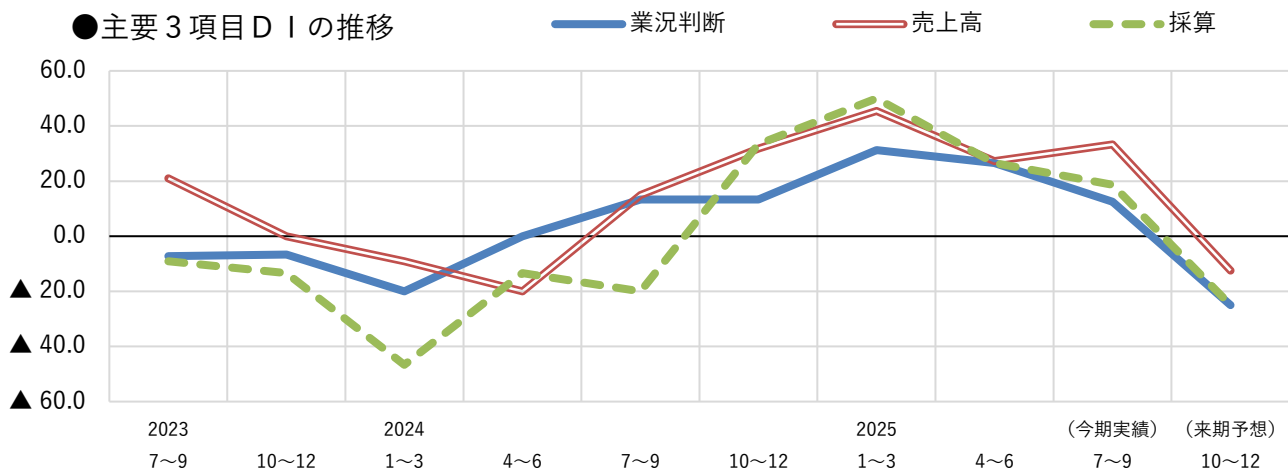


今期の採算DIは18.7で、前年同期と比
べ38.7ポイントと大幅に上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ43.7ポイン
トと大幅に低下すると予想しています。



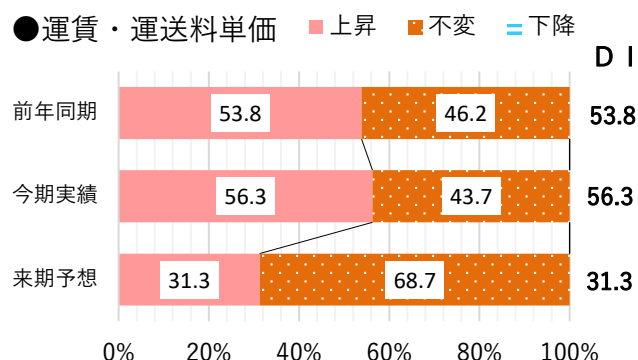
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

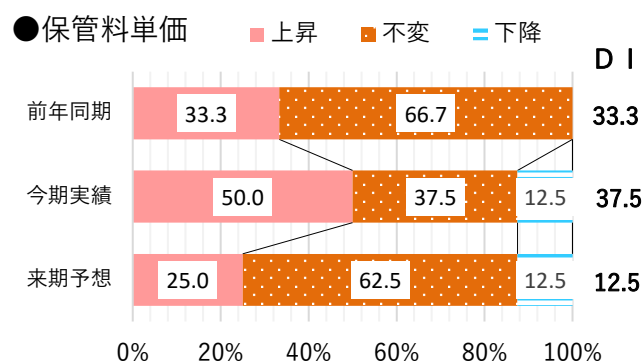
今期の運賃・運送料単価DIは56.3で、前年同期と比べ2.5ポイント上昇しました。

来期の運賃・運送料単価DIは今期と比べ25.0ポイント低下すると予想しています。



今期の保管料単価DIは37.5で、前年同期と比べ4.2ポイント上昇しました。

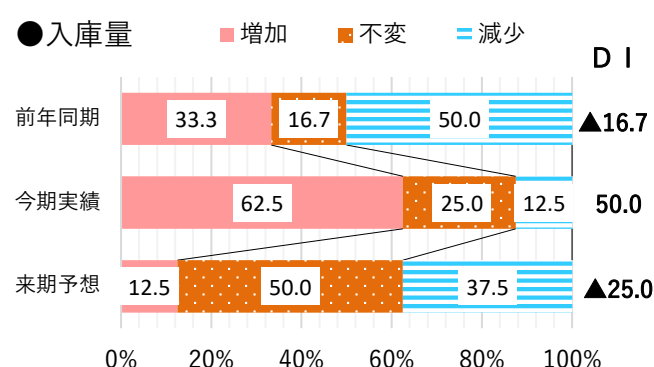
来期の保管料単価DIは今期と比べ25.0ポイント低下すると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

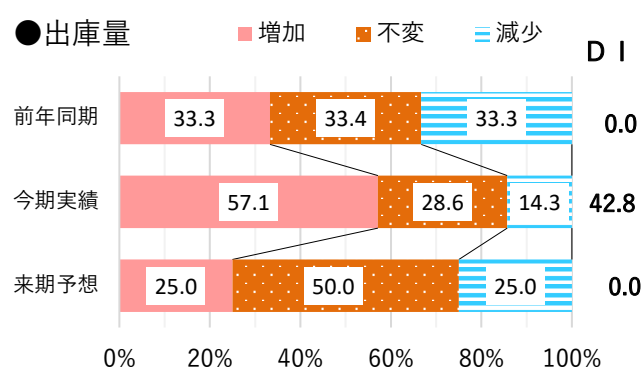
今期の入庫量DIは50.0で、前年同期と比べ66.7ポイントと大幅に上昇しました。

来期の入庫量DIは今期と比べ75.0ポイントと大幅に低下すると予想しています。



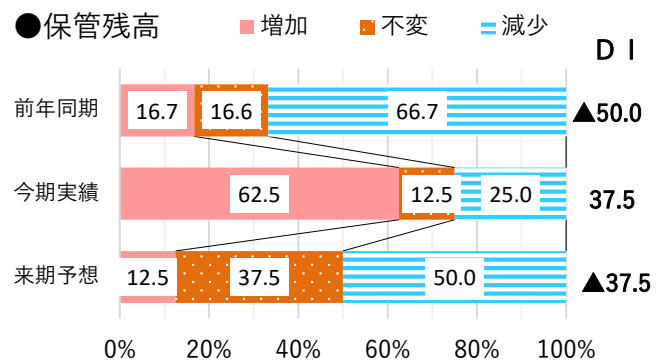
今期の出庫量DIは42.8で、前年同期と比べ42.8ポイントと大幅に上昇しました。

来期の出庫量DIは今期と比べ42.8ポイントと大幅に低下すると予想しています。



今期の保管残高DIは37.5で、前年同期と比べ87.5ポイントと大幅に上昇しました。

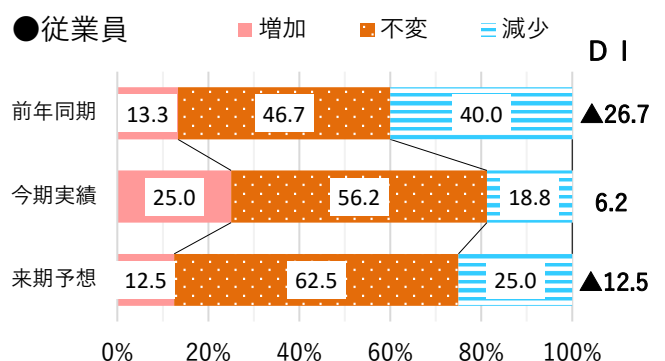
来期の保管残高DIは今期と比べ75.0ポイントと大幅に低下すると予測しています。



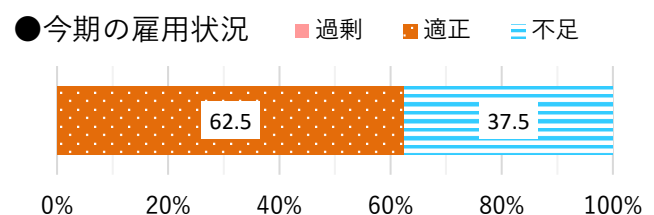
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは6.2で、前年同期と比べ32.9ポイントと大幅に低下しました。

来期の従業員DIは今期と比べ18.7ポイント低下を予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は62.5%、不足していると回答した企業の割合は37.5%でした。



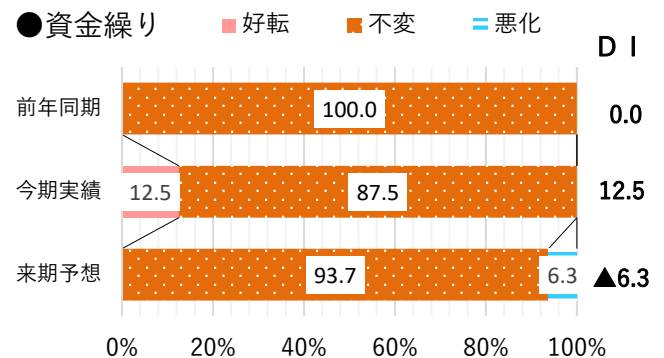
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、43.8%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	3
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	7
	不足	2
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	3

資金繰り、設備投資

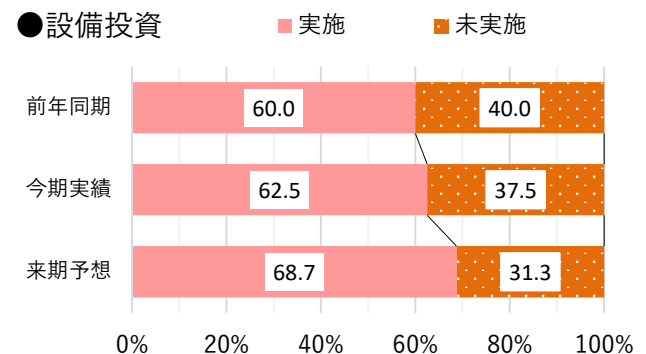
今期の資金繰りDIは12.5で、前年同期と比べ12.5ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ18.8ポイント低下すると予想しています。



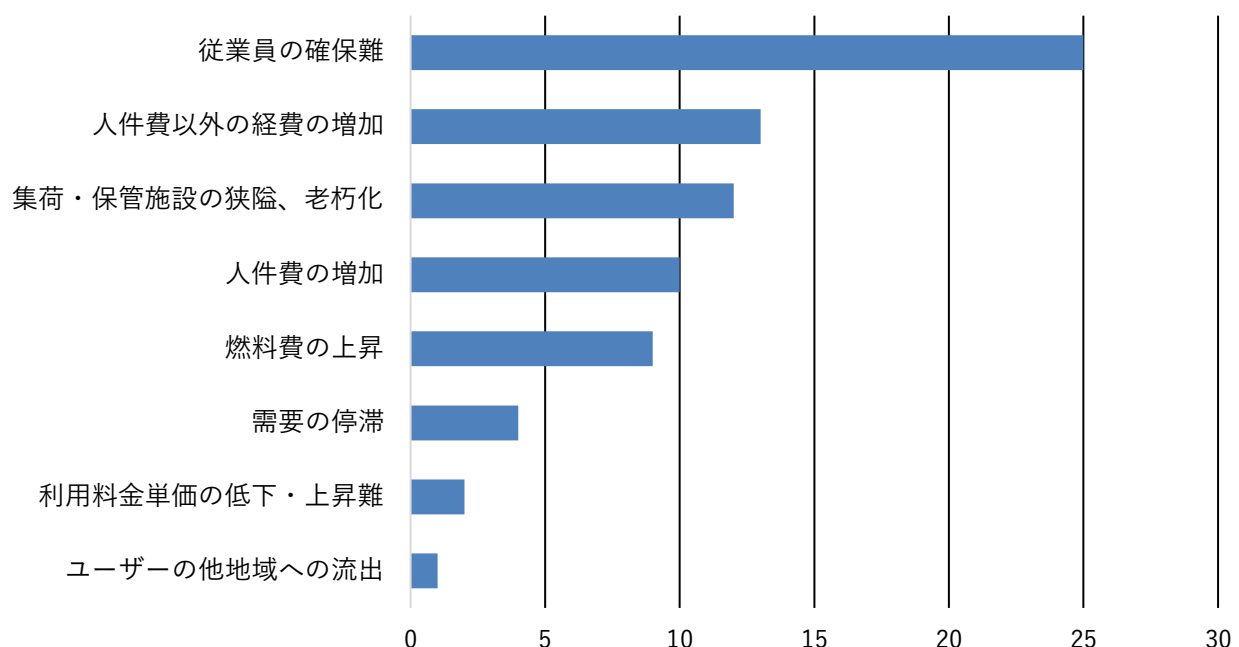
今期の設備投資はを62.5%が実施と回答し、前年同期と比べ2.5%上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「O A 機器」でした。

来期は68.7%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「集荷・保管施設の狭隘、老朽化」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 社員不足により売上確保の機会を損失した。(道路旅客運送)
- 人材不足と燃料費の増加が見られた。(道路旅客郵送)
- 売上額が増加した。(道路旅客郵送)
- 人件費、修理費、消耗品費、フェリー代、備車費、車両費などが値上げのため経費が大幅に上昇した。
(道路貨物運送)
- 人材確保も適正で、仕入価格上昇分も適正に価格転嫁できており、出荷も好調である。(道路貨物運送)
- 売上は増加しているが仕入価格(燃料代)も高止まりしているのでさほど変わらない。(道路貨物運送)
- 貨物部門ではドライバーの減少分の確保が出来ず売上額が減少となる。(道路貨物運送)
- 農作物が若干不作のため、輸送量数が落ちた。(道路貨物運送)
- 保管していた備蓄米の出庫が進み保管残高が減少した。また、作業員が不足している。(港湾運送)
- 機材トラブルと天候により、輸送力減少した。(水運)
- 備蓄米及びMA米の出庫量増加により備蓄貨物量が減少したが他の貨物入庫が増えた。(倉庫)
- 売上は伸びているものの、秋からの農産物の取り扱い量が未定である。(倉庫)
- 入庫量が増加した。(倉庫)

[来期の業況について]

- 6%を超える最低賃金の高騰は、燃料費を始めとする企業物価の高騰と相まって厳しい。(道路旅客運送)
- 売上額が増加した。(道路旅客郵送)
- 人材不足が予想される。(道路旅客郵送)
- 売上は増加しているが仕入価格(燃料代)も高止まりしているのでさほど変わらない。(道路貨物運送)
- さらなる値上が予想され、当社荷主との運賃交渉は年に一回だけなので苦しい。(道路貨物運送)
- ドライバーの確保による売上増が見込めなければ厳しい状態となる。(道路貨物運送)
- 好調の継続を見込む。(道路貨物運送)
- 今期並と予想。(道路貨物運送)
- 保管残高の減少による収入の減少を予想する。(港湾運送)
- 機材入れ替え時の輸送力減少と、農作物の出来次第で売上が変わってくる。(水運)
- 米の新規入庫が未定なので保管料収入が減少する見込み。(倉庫)
- 入庫量の減少が懸念される。(倉庫)
- 不変とする。(倉庫)